

## 平成 22 年 度 自 己 評 価 書

- 自己評価の段階
- 5…非常に良好である
  - 4…良好である
  - 3…改善が必要である
  - 2…見直しが必要である
  - 1…根本的な見直しが必要である

### 1 教育目標について

<b>校 訓</b>	<b>児 童 像      自分からすすんでやる子</b>
なかよく 強く 正しく 美しく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくましく生きぬく子 (生命の尊重、体力向上)</li> <li>・みずから学ぶ子 (自主創造性)</li> <li>・豊かな心をもつ子 (豊かな情操)</li> <li>・よく働く子 (勤労、責任)</li> </ul>

☆ 知、徳、体の調和のとれた児童の育成を図る。

自己評価	5	
保護者アンケートから、教育目標にそった活動については、理解をいただいていると考える。 (保護者アンケート結果 あてはまる+ややあてはまるの割合)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくましく生きぬく子 ( 97% )</li> <li>・みずから学ぶ子 ( 96% )</li> <li>・豊かな心を持つ子 ( 96% )</li> <li>・よく働く子 ( 93% )</li> </ul>		

### 2 重点項目について

(1) 基礎的、基本的な学習の定着を図り、学力の向上をめざす。

#### ① 児童の基本的学習習慣の確立

自己評価	3	
昨年度よりも改善傾向にあるが、まだ十分とはいえない状況があり、引き続き継続した指導を要する。 (児童・教職員のアンケート結果 あてはまる+ややあてはまるの割合)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て聞く (児童 84% 教職員 71%)</li> <li>・腕を伸ばして挙手をする (児童 84% 教職員 66%)</li> <li>・名前を呼ばれて、返事ができる (児童 91% 教職員 79%)</li> <li>・いすを入れて発表する (児童 87% 教職員 86%)</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員への働きかけを、きめ細かく、継続して行う。</li> <li>・朝会等で校長自らも呼びかける。</li> <li>・家庭での実践も呼びかける。</li> </ul>	

② 児童の基本的な生活習慣の確立

今年度は、特にあいさつの励行にしばって取り組む。

自己評価	4	
<p>向上傾向にあるが、さらに、定着を図りたい。                  (アンケート結果 あてはまる+ややあてはまるの割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童 ( 平 22 86% ← 平 21 82% )</li> <li>・保護者 ( 平 22 80% ← 平 21 72% )</li> <li>・教職員 ( 平 22 71% ← 平 21 47% )</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、教職員への協力を継続して行う。</li> <li>・あいさつ運動の工夫を図る。</li> </ul>	

③ 基本的な学習内容の定着

個への対応  
 漢字・計算コンテストの充実  
 学力テストの活用 (弱点の保有)

自己評価	3	
<p>平 21 に比べ、個別支援にかかる時間は充実することができた。                  漢字・計算コンテストも定着してきている。                  学力テストの補充は、各学年で対応を図った。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、個別支援を推進する。</li> <li>・漢字・計算コンテストの継続と内容の充実を図る。</li> <li>・学力テスト結果を考察し、有効に生かす。</li> </ul>	

2 気づき、考え、実行する児童を育てる。

委員会活動 児童会活動 係活動 当番活動 ボランティア活動など

自己評価	4	
<p>係、当番活動、委員会活動の取組など、おおむね良好である。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、各種行事、児童会活動などを通して、自主的な体験を推進する。</li> <li>・ボランティア活動の取組を工夫する。</li> </ul>	

### 3 資質向上（校内研修）

#### ① 学習指導要領の移行の対応

自己評価	4	
移行期の未習に気をつけ、大きな混乱なく実践できている。 改訂の趣旨をふまえた実践を図る必要がある。		

#### ② 教育情報化総合モデル事業（ICT支援員派遣事業）の推進 電子黒板の活用など

自己評価	4	
電子黒板の活用について、使用に慣れ、教員の抵抗感は薄れてきた。		

### 4 児童用生徒指導資料「よもぎっ子」の見直し

自己評価	4	
年度当初および時期をとらえ、見直しを図った。		

### 5 学校だより、学級だより、保健だよりの活用などによる家庭との連携強化

自己評価	4	
(アンケート結果 あてはまる+ややあてはまるの割合) ・学校だより、学年だよりによる情報提供（保護者 平22 93%←平21 91%）		

### 6 業間の過ごし方 基本的に運動場で過ごす。

自己評価	3	
アンケート結果や実態から改善傾向があるが、まだ十分とは言えない。 (アンケート結果 あてはまる+ややあてはまるの割合) ・大放課に運動場で遊んでいる。(児童 平22 78%←平21 70%)		

### 7 その他

・今年、あらたに絵本リレーの導入ができた。 ・その他、あいさつ川柳、少年を守る会への応募の向上がみられた。 ・環境ボランティアの継続ができた。 ・幼稚園児を授業参観に招いた。 ・放課後子ども教室の対応が順調にできた。		
--	--	--